

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 ENITO・M		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 15日		～ R8年 1月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している。子どもが自己選択出来るように自己決定力を育てる支援を行なっている。	・こどもの興味関心に沿った活動提供とプログラム活動、子どもの主体性や対話を大切にした活動提供をする中で、豊富な経験や深い学びにつなげられている。	・本人支援における支援プログラムを放課後等デイサービスガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に幅広い経験や深い学びの場から提供できるようにしていきたい。
2	・日々の支援に関して記録を取ることで支援の改善に繋がっている。	・子ども一人一人のストレングスを重視した支援に繋がっている。	・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援へと繋げていくことと、保護者・学校や他デイと共有し、子ども達に関わる人たちと共通理解を深めていきたい。
3	・環境に左右されやすいのでその都度、子どもの状況を保護者と伝え合い、課題について理解を持っている。	・送迎時の申し送りをお便りの配信、懇談会など話をする機会、共有する機会を増やす。	・今後、保護者支援の一環として、保護者会等で、プロジェクト活動や子どもたちの成長を伝える機会を持つことが共通を持つことだけでなく、一緒に学びを深める機会や子ども達の発達や成長を理解する視点を伝えるというペアレントトレーニング等の方向にもつなげていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるように支援していきたい。	保護者同士の交流する機会が少ない。	定期的・保護者活動内容を伝え、機会を継続し、参加しやすい日や時間帯・内容などを意向する様々な方法を試していきたい。
2	・事務所での事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている。	・マニュアルを保護者に周知・説明する機会を設けていない。	・定期的にマニュアルを見直し継続していきたい。・救急要請、感染症対策等、職員間で実施している子どもたちの安全の取り組みも保護者と共有していきたい。
3	・事業所では非常災害の発生に備えて、避難・救出その他必要な訓練が行なわれる。	・訓練の実施について見えるかいか不十分である。	・訓練でも子ども達の様子に気づき、保護者に見える化し共有する対応して、家庭でも出来るように対応を知っておきたい声もあるので一緒に参加する機会を作っていきたい